

◎にぎわいある観光の振興について

問 観光交流を増やすために、市民を巻き込んだ観光を考える会を設けたらどうか。

答 来年度に観光基本計画「ふくろいほ」と観光プラン」の策定を計画している。市民を巻き込んだ観光を考える会の第一歩となるよう、連携を図り、策定していきたい。

◎市内の生活保護世帯への支援について

問 生活保護世帯が増加傾向にあるが、自立支援と対応策はどうか。

答 1月末現在で266人が生活保護を受けており、この一年間で1.24倍となっている。受給者への就労支援を積極的に促進するとともに、きめ細かな指導を行っている。

◎子供の安全・安心について

問 子供の急病に的確に対応するために、ダイヤル#8000の周知徹底を図るべきだと考えるが。

答 静岡子ども救急電話相談（#8000）事業は、看護師や小児科医が相談に応じてくれる事業である。子育て家庭を中心に、幼稚園、保育園、小学校とも連携する中で、効果的な広報に努めていきたい。



静岡子ども救急電話相談のチラシ

◎TPPと農業政策推進について

問 自由化と農産物輸出について、（仮称）静岡県農産物通商株式会社の必要性は。

答 日本の農産物は、今後も国内外へのさらなる需要拡大が見込まれることから、輸出会社の設立も一つの方法だと考える。

問 若者就農対策として（仮称）後継者育成基金創設の考え方は。

答 県では、新規就農者への支援制度や、40歳以下の後継者を対象とした経営多角化に必要な研修への支援制度がある。これらの制度を周知し、後継者の育成を図るとともに、後継者への所得補償については、今後研究していきたい。

◎水資源涵養林保護対策について

問 上流部と下流部との連携と国・県・市の対応は。

答 国では、森林法の改正について検討している。県では、水源涵養保安林の指定により、外国資本の山林開発の抑制を検討している。県西部地域の市町において、広域的な連携を図ることで、森林を守ることが重要であると考えている。



後継者の育成が課題となっている農業